



KAYAMA

「そうぞう」を「カタチ」に



Create your imagination

「そうぞう」を「カタチ」に。

香山組は、創業以来培ってきた豊富な経験とノウハウをもとに、様々な先進的な技術の導入・活用を推進し、急速に高度化・多様化しているお客様のニーズにお応えします。
そして、これからの時代を見据えた付加価値の高い建設工事を行い、豊かな未来を創造します。

business 01

土木事業

都市インフラや環境の整備を手掛け、
人々の暮らしの
確かな基盤をつくります。

都市の道路や橋、トンネルなどの交通インフラを整備し、耐震補強や特殊工事にも対応。河川や堤防、公園の地盤改良を通じて、人々の暮らしの基盤と安全を支えています。

当社の施工実績は
こちら



Civil engineering business

工事 × DXで
インフラDXを推進

business 02

DX事業

課題の本質を見極めた
業務改善を行います。

私たちは国土交通省が提唱しているインフラ分野のDXの思想を基に、DXによる技術の活用を推進し、魅力ある建設業を発信していきます。

DX business

土木事業の活動

都市インフラや環境の整備を手掛け、人々の暮らしの確かな基盤をつくります。
道路や橋脚、トンネルなどの都市の交通インフラを支え、整備し信頼性を高めています。

事業紹介



橋りょう架替



橋りょうPC上部



鋼構造物



造成



ダム



公園



地盤改良



水道



トンネル

Civil engineering

CE

インフラDXに定める、現場の革新

01 紙媒体“0”を目指した
オールデジタル化の取組



当社は、建設現場におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進し、従来の紙媒体で運用されていた安全掲示板、KYKミーティング記録、施工図面などを完全にデジタル化しています。タブレット端末やデジタルサイネージを活用することで、リアルタイムな情報共有や図面の即時更新が可能となり、ペーパーレス化による環境負荷の低減を実現しています。

02 工事に特化した
アプリケーションの導入



当社では、AI技術とICTを活用した高精度な配筋検査アプリ「鉄筋出来形検査アプリ」を導入しています。従来の鉄筋検査では、マーキングや計測、帳票の作成に多くの時間と人手を要していましたが、本アプリを使用することで、写真を撮影するだけで自動検測が可能となります。

03 オフグリッド
トレーラーハウス



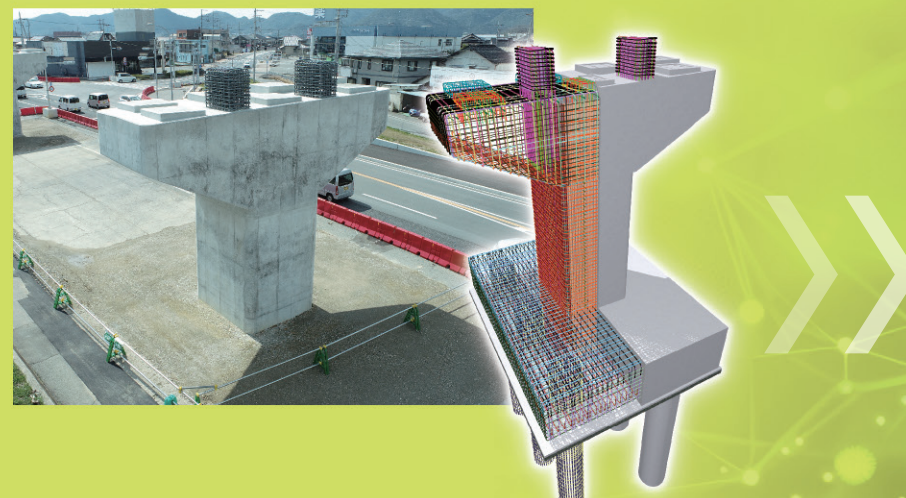
天井部に設置したソーラーパネルを活用して安定した電力供給を実現し、オフグリッドシステムを導入しています。現場で必要となる生活水についても、空気中の水分から水を生成する空気製水機を搭載しており、環境に配慮した持続可能な運営を行っています。普段は現場の事務所として活用されていますが、本機は実際に防災拠点としての活用実績もあり、有事の際には防災の拠点として使用することができます。

DX事業の活動

CIMモデルで実現する、“見える化”された建設現場

私たちの身の回りにある橋や道路などの建造物。これらを建設するには、多くの関係者が協力し合い、ミリ単位の精密な作業が必要となります。

そこで活躍するのが「CIM(シム)モデル」です。CIMモデルとは、建造物を立体的に表現したデジタルモデルのことです。まるでゲームの世界のように、建物を360度どの角度からでも確認できます。



“BIM/CIM原則適用”トップランナーへの挑戦

映像で「見える」施工手順

建設現場では、複雑な工事の手順を正確に伝えることが重要です。CIMモデルを活用した3D動画は、まるでアニメーションのように工事の流れを視覚的に表現。誰もが直感的に工事を理解することができます。



建設を「遊び」に変える、新しい学びの形

実際の現場のCIMモデルをゲームエンジンに取り込み、ゲームのコントローラで自由に工事を体験できるアプリケーションを開発中です。リアルな建設現場をゲーム感覚で安全に楽しみながら学習することができます。



「そうぞう」を「カタチ」に。

地域の未来を築く、香山組の5つの柱

施工管理

現場監督の主な仕事は「工程管理」「品質管理」「原価管理」「安全管理」の4つ。この4つを総称して、施工管理といいます。施工管理のミッションは、契約内容に基づき、設計図書どおりに工事の目的物を工期内に無事故で完成させること。そして、品質を落とさない範囲で可能な限り経済的に工事を進めることも重要です。

BIM/CIMオペレーター

デジタル技術を駆使し、工事の3Dモデルを作成する存在です。作成した3Dモデルを使って、近隣住民向けに工事の説明動画を作成して放映したり、VRによる現場教育、ARによる現地確認に活用したりと、自分の作成した3Dモデルで工事のサポートができます。DX化が進む建設業において、必要不可欠な存在です。

建設ディレクター

建設ディレクターは、技術者（施工管理）と一緒に工事書類やデータの作成、ICT業務を担う存在です。多岐にわたる技術者の書類業務をワークシェアし、業務の効率化を図りチームで仕事をする仕組みづくりを進めます。建設ディレクターのミッションは、早く丁寧に書類を作成することであるためITスキルが身につきます。また、ドローン操作や3Dデータの作成など個々の特性を生かしてデジタル人材として活躍することが可能です。

重機オペレーター

資材の搬入・搬出や掘削など、現場で人の力だけでは難しい作業を効率的に行うために欠かせない職種です。クレーン車やショベルカーなど、多様な重機を操作して現場を支えます。重機の種類に応じて必要な免許・資格を取得することで、専門的な技術が身につく、活躍できるフィールドが広がります。現場を動かす大きな力として、やりがいを感じられる仕事です。

事務系総合

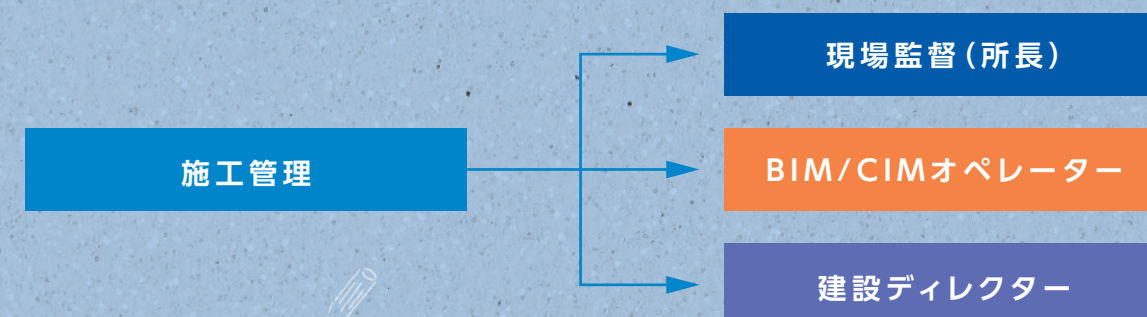
- 営業事務** 工事を受注するための申込資料の作成や契約の事務手続きを行います。工事を受注できるかどうかを左右する重要な業務です。
- 経理** 事業活動に伴うお金の流れを記録したり、取引記録となる証憑（しょうひょう）書類の管理。
- 総務** 社内外行事の運営や給与計算、残業時間の管理など、社員が働きやすい環境作りを担います。会社の業務効率を改善できることに誇りを感じられる仕事です。
- 人事** 人材の採用、育成、評価。あらゆる面で常に他部署と連携しながら、企業にとって大切な財産である「ヒト」を生かす仕事です。

求める人物像

- ひとりひとりが信念を持って行動できる人
- 失敗を恐れずに何事にもチャレンジする元気と活力がある人
- 目標を達成するため、自己啓発に励んで能力の向上をつづけられる人

ステップアップ

施工管理として入社した後は、「そのまま現場監督として自分の現場を持つか」「建設ディレクターやBIM/CIMオペレーターとして、現場での経験を活かして、現場のサポートをするか」等、幅広いキャリア形成が可能です。



社員インタビュー 施工管理

1 入社理由

多くの人と関わりながら仕事がしたいと思っており、設計業務等よりは施工管理かなと思っていました。その中で転職がない会社であり、より早く一人前に仕事ができる環境がある会社を選びたいと決めていました。弊社は年齢など関係なく、より早く所長になれる方針であったので入社を決めました。

2 仕事をする上で意識していること

施工管理は段取りが命です。段取りが悪ければ、工事をする時間が無くなる。時間が無くなれば焦りが生まれて協力業者のひととの仲が険悪になる、安全が疎かになる。安全が疎かになれば事故が起きる。このように段取りが悪くなれば全て悪循環になっていく。そのため、前もって準備が出来るように心がけています。

3 今後の目標

現在、所長として現場を運営していますが、まだまだ知識不足な所が多くあるので諸先輩方を追い越せるような現場運営をしていくこと。また、社内でも課長として出来るだけ早く役割を果たせるようになること。

4 学生に向けてメッセージ

施工管理は物が目の前で出来上がっていくことが醍醐味ですが、完成までに非常に多くの人が関わっています。楽しいことも苦しいことも作業員全員で共有していくことが私にとってはこの仕事のやりがいです。少しでも良いと感じて入社してもらって一緒に仕事が出来たらいいなと思います。

3〜5年にジョブローテーションが可能です



社員インタビュー

BIM/CIMオペレーター

1 入社理由

地元の友達とあまり離れなくなかったので、地元企業かつ転職がない点が自分にあってるなと思ったからです。

2 今の仕事の面白いところ、難しいところ

元々、模型を作ったりするのが好きだったので、3Dモデルをパーツごとに作って最後に合わせて形が出来上がるのが面白いです。また、鉄筋やこれまで自分が見たことない構造物の3Dモデルを作るときは図面から立体を想像しにくいので、とても難しいです。



社員インタビュー

建設ディレクター

1 入社理由

私自身、自分の住む街が再整備によって変貌していくのを目の当たりにした経験から、建物や街づくりに興味を持ち、就活当初はデベロッパーや不動産を中心に見ていました。ですが、建物だけではなく、道路や河川、港湾などを通してこれから先も形として残り続け、人々の暮らしを支え続けることや、実際にそれを形作っていく重要な担い手であるという仕事のスケール感に惹かれ、建設業界を志望しました。また、建設業界は理系出身の社員が多いですが、文系出身でも活躍できるフィールドがたくさんあると感じました。実際に入社後は、経理課・営業課・DX推進部などジョブローテーションを経て、社内に建設ディレクターという新しい職域を導入し、現在は、私自身も建設ディレクターとしてこの業界に携わっています。このように若手社員の声を受け入れてもらえること、様々なことにチャレンジさせてもらえる環境に魅力を感じています。

2 今の仕事の面白いところ、難しいところ

建設ディレクターとして、工事の最前線で活躍する施工管理をサポートする仕事に携わっていますが、工事完成に向けて技術者と協働することで、ものづくりの達成感ややりがいを共有できるところが、この仕事の

3 今後の目標

建設ディレクターの資格をとったので、現場に出ながらこれまで知らなかった現場の知識や業務について覚えていきたいです。ゆくゆくは、色んな業務をこなせるようになるのが目標です。

4 学生へのメッセージ

就活で一番大事だと思うのは、譲れない軸を一つでもいいので持っておくことです。軸がない人は、自分がプライベートで何をしたいかを考えて、それをするために何が必要か確かめてから、条件を決めるといいと思います。それさえできれば後はどうとでもなるので、残りの学生期間たくさん遊んで思い出を残してください。就職活動、応援しています!!

面白いところだと思います。私は文系大学出身で、建設ディレクターになる前までは土木の知識が全くなかったため、現場を理解するために業務をしながら土木の知識を学ぶことが、難しいところではありますが、新しいことを学ぶことができるのは、楽しさややりがいがあります。

3 今後の目標

今以上に自分自身に知識・技術を身につけ、「いたら助かる」ではなく「いないと困る」存在になることが今後の目標です。

4 学生へのメッセージ

私は就職活動において、自己分析や企業研究、面接でありのままの自分を話すことなど、様々なアドバイスを受けました。もちろんそれらも重要なことですが、実際に就職活動を振り返って感じていることは、就活は「運と縁」の部分が大きいということです。自分が行きたい会社というよりも、活躍できる会社を選ばれるものだと感じています。やるべきことを続けていれば、そのような会社にきっと出会うことができると思っています。あまり結果に一喜一憂せず、頑張してほしいです。

頑張った人が報われる会社に

私たち“香山組”は、創業以来、総合建設業として常に前進してきました。それは、これまで培ってきた経営ノウハウと、社員一人ひとりが社訓「成せば成る」を実践してきた結果です。

近年、社会は急速に変化し、新たなニーズが生まれています。建設業界も例外ではなく、固定観念にとらわれていては、成長は望めません。私たちは伝統を大切にしつつ、新たな挑戦を重ねることで、さらなる発展を目指しています。私たちの目標は、『兵庫県 No.1 企業』となり、『売上高100億円、従業員100人体制』を実現することです。

この目標を達成するために、新たな経営方針や中長期経営計画を策定し、全社員に会社のビジョンを明確に共有しています。全社員が経営者的な視点を持つことで、会社の発展と社員の生活の安定を実現する好循環を築いています。

私たち“香山組”は、社員を大切にしながら、共に目標に向かって努力を続けていきます。

代表取締役社長 香山 昌哉



Employee Benefits

福利厚生



各種資格取得
支援制度



育児・介護
休業制度



奨学金返済
支援制度

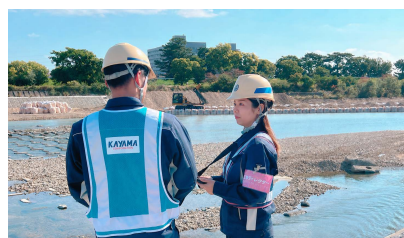
- 慶弔見舞金制度／●時間単位有給休暇制度／●各種表彰制度／●健康診断実施／
- ストレスチェック実施／●損害保険／●生命保険団体扱／
- 社員研修旅行／●忘年会／●慰労会／
- 新入社員歓迎会／●若手社員交流会／
- 置き型社食



SDGsへの取り組み



「住む人々に安全と安心を『当たり前』と思ってもらえる社会を築く」、「住む人々に『住んでよかった』と思ってもらえる社会を創造する」という二つの指針と世界の課題解決に向けたSDGs達成に向けて取り組んでいます。



建設ディレクター導入とDXで働き方改革を推進



工事施工に係るデータ処理やICT業務を担う、『建設ディレクター』という新たな職種を導入し、現場技術者の書類業務等をワークシェアすることにより業務の効率化を図っています。3次元設計データを用いたICT施工や、ウェアラブル端末を駆使した遠隔臨場など、DXによる技術の活用を推進し、建設工事の品質向上や生産性向上を実現しています。



若手社員だけの現場勉強会



若手社員の活躍を推進するため、若手社員が主体となって様々な取り組みを行っています。30歳までの社員が月に1回集まる「若手会議」では、会社や仕事の問題提起と改善案の検討を行っています。他にも「若手勉強会」など若手が活躍し続けられる環境づくりに取り組んでいます。



尼崎の企業とコラボした環境学習の実現



尼崎臨海地域の企業、行政、NPO等と連携し、毎月開催される「企業版森の会議」に参画しています。この会議では、子どもたちに「環境学習」をテーマに、地域の魅力を発信する「環境学習フォーラム」を実施しています。当社は、工事で発生する廃材を提供し、地域の企業と協力して、子どもたちへワークショップを実施しています。

社会貢献

地域や社会への貢献活動にも積極的に取り組んでいます。



尼崎の森中央緑地 / 森のフェスタ



兵庫県 / ひょうご楽市楽座

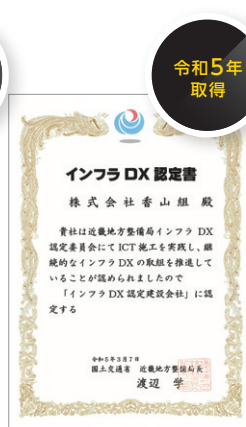


苗木の里親

表彰受賞紹介



ひょうご産業SDGs認証事業
ゴールドステージ認定



インフラDX認定



健康経営優良法人2025



ひょうご産業
SDGs推進宣言企業



ひょうご仕事と生活の
調和推進企業認定



ひょうご・こうべ女性活躍
推進企業認定



大阪市女性活躍
リーディングカンパニー

Company Profile

会 社 名	株式会社香山組
創 業	昭和29年10月
設 立	昭和52年4月
資 本 金	7,750万円(授權資本金31,000万円)
代 表 者 名	代表取締役社長 香山 昌哉
社 員 数	59名
売 上 高	28億1,600万円(令和8年5月期)
登録及び許可	国土交通大臣許可(特-7) 第10797号
許 可 業 種	土木工事業 / 建築工事業 / 大工工事業 / とび・土工工事業 / 石工事業 / 鋼構造物工事業 / 鉄筋工事業 / 舗装工事業 / しゅんせつ工事業 / 防水工事業 / 造園工事業 / 水道施設工事業 / 解体工事業
事 業 内 容	土木工事請負 / シールド工事 / 推進工事 / 土地造成工事 / 港湾工事 / しゅんせつ工事 / 橋梁工事 / 上下水道工事 / 河川工事 / 道路工事 上記の事業に付随する工事一切
取引金融機関	三井住友銀行 甲子園口支店 / 三菱UFJ銀行 尼崎支店
主 要 取 引 先	国土交通省 近畿地方整備局 / 兵庫県 / 神戸市 / 大阪市 / 尼崎市 / 大鉄工業 株式会社 / 株式会社 熊谷組 / 株式会社 奥村組 / 株式会社 大林組 / 清水建設 株式会社 / 西松建設 株式会社 ※順不同

- | | |
|------------------------------|------------------------------------|
| ●本社
兵庫県尼崎市東難波町5丁目31番20号 | ●加古川営業所
兵庫県加古川市加古川町木村20番地1 前川ビル |
| ●大阪支店
大阪府大阪市北区浪花町13番38号 | ●姫路営業所
兵庫県姫路市安田4-53-21 湯浅ビル201 |
| ●神戸営業所
兵庫県神戸市西区玉津町出合138-1 | |

History

- | | |
|-----------|-------------------------------------|
| 1954年 10月 | 香山組(個人)を創業 |
| 1977年 4月 | 株式会社香山組を設立
香山茂公 代表取締役役に就任 |
| 2000年 4月 | ISO9002認証登録
(2003年にISO9001に移行登録) |
| 2001年 8月 | ISO14001認証登録 |
| 2003年 12月 | 規模拡大のため本社移転 |
| 2017年 3月 | 香山昌哉 代表取締役社長に就任 |



本社外観



エントランス